

令和8年度予算見積調書

課室名: みどり自然課
担当名: 野生生物担当
内線: 3154

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
N76	鳥獣保護センター管理運営費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費	
事業期間	平成26年度～	根拠法	根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律			針路分野施策	101003 豊かな自然と共生する社会の実現 生物多様性の保全	SDGsゴール15 SDGsターゲット15-1, 15-5, 15-8

1 事業の概要

野鳥の高病原性鳥インフルエンザ検査及び傷病野生鳥獣の保護管理を適正に実施し、さらに人間に危害を及ぼす外来生物を駆除することにより、生物多様性保全を推進するとともに県民の生活環境を守る。

ア 鳥獣保護センター管理運営費	16,240千円
イ 鳥獣保護センター内部改修工事	28,143千円

2 事業主体及び負担区分

(県10/10)

3 地方財政措置の状況

普通交付税(単位費用)
(区分) 林野行政費(細目) 鳥獣行政費
(細節) 鳥獣行政費
(積算内容) 鳥獣保護事業の実施等に関する事務

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

(1) 人件費(既存分) 9,500千円×0.7人=6,650千円
(2) 人件費(増員分) なし
(3) 組織の新設・改廃 なし

5 事業説明

(1) 事業内容

ア 鳥獣保護センター管理運営費(通年) 16,240千円
鳥獣保護センター運営を業務委託し、野鳥の高病原性鳥インフルエンザ検査、傷病鳥獣の保護を行う。
イ 鳥獣保護センター内部改修工事(通年) 28,143千円
耐震診断結果に基づき、内部改修工事を行う。

(2) 事業計画

鳥獣保護センターにおける適正な野生鳥獣の保護を継続し、生物多様性の保全を図る。

(3) 事業効果

ア 野鳥における高病原性鳥インフルエンザの検査体制の確立
「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」(環境省自然環境局)に基づく検査体制を確立することにより、高病原性鳥インフルエンザに感染している恐れがある野鳥の県内への侵入を監視し、人の感染リスクを低減する。
イ 生物多様性の保全
傷病野生鳥獣の保護管理を適正に実施し、人に危害を及ぼす外来生物を駆除することにより生物多様性の保全を図るとともに人の生活環境が守られる。

(4) 県民、民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況

野生鳥獣について豊富な知識や技術を有する埼玉県生態系保護協会と連携し、野生鳥獣の保護を適正に実施する。

予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
		県債						
決定額	44,383	28,000					16,383	21,571
前年額	22,812	6,000					16,812	

事業内訳書

事業名	鳥獣保護センター管理運営費		
単位事業名	鳥獣保護センター管理運営費	予算額	16,240千円

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	16,240	36	
合計	16,240	36	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	12	0	
委託料	16,228	36	
合計	16,240	36	

単位事業名	鳥獣保護センター内部改修工事	予算額	28,143千円
-------	----------------	-----	----------

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・総務債	28,000	22,000	県有施設整備事業債

単位事業名	鳥獣保護センター内部改修工事	予算額	28,143千円
-------	----------------	-----	----------

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	143	△465	
合計	28,143	21,535	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	48	37	
需用費	8	6	
役務費	4	4	
委託料	0	△6,595	
工事請負費	28,083	28,083	
合計	28,143	21,535	